

令和6年度第1回古賀市上下水道事業経営等審議会 会議録
(要点筆記)

【会議の名称】

令和6年度第1回 古賀市上下水道事業経営等審議会

【開催日時】

令和6年8月8日(木) 13:00~14:00

【開催場所】

古賀市役所 第2庁舎2階 中会議室

【傍聴者数】 0人

【出席者】

委員：木下委員(会長)、西本委員(副会長)、浦野委員、宮崎委員、梶浦委員、中島委員、吉村委員

事務局：浦野上下水道課長、渋田参事補佐兼上水道係長、松岡参事補佐兼給排水係長、大砂総務・上水道管理係長、真崎下水道管理係長、三原下水道係長、

その他：田辺市長

【会議の内容】

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委嘱書の交付
4. 自己紹介(委員、事務局)
5. 会議の成立の及び資料の確認
 - ・委員7名全員の出席により、会議成立を報告
 - ・今年度の会議は公開とし、会議録は要点筆記にて作成の上、ホームページ等で公開
 - ・本日の傍聴者は0名
 - ・資料の確認

6. 副会長の選任

- ・副会長を西本委員に決定

7. 諮問

- 第1号 今後の汚水処理等のあり方について
 - ・市長より諮問書を読み上げ、会長に交付

8. 議事

(事務局)

(1) 水道事業会計について

資料「水道事業会計について」に基づき令和5年度決算（速報）を説明

資料 P2 ①水道事業会計決算（速報） (1)概要

- ・有収率 98%で、効率良く料金収入につなげることができている。
- ・供給単価が給水原価を上回っており、給水に係る費用を料金収入で賄えている。
- ・資本的収支は約 5 億 2 千万円の資金不足となっているが、純利益、積立金等の自己資金で補填している。

資料 P3 ①水道事業会計決算（速報） (2)貸借対照表

- ・貸借対照表は企業の経営状況を示している。資産の部の2流動資産（1）現金預金は約 11 億円で、これは毎年度約 1～2 億円減少している。負債の部の3固定負債（1）企業債は借金で、平成 21 年度以降は新たな起債をしておらず残高は順調に減少しており、令和 5 年度末は約 14 億円で、令和 4 年度末よりも約 2 億円減。このまま順調に償還すれば、令和 20 年度には償還金残高は 0 円となる。
- ・負債の部の7剰余金（2）利益剰余金は約 28 億円。未処分利益剰余金は議会の議決を経て、建設改良積立金として、資本的収支の不足分に充てている。資本的収支はどうしても資金不足となるので、経営悪化させないため、この剰余金を平準化して活用している。現金残高や剰余金は十分に積み立てており、財政状況は安定している。

資料 P4 ①水道事業会計決算（速報） (3)損益計算書 (4)キャッシュフロー計算書

- ・損益計算書は経営成績を示している。令和 5 年度は営業収支・営業外収支はともにプラス。また、当年度純利益は約 1 億 5 千万円で昨年度よりも増えている。
- ・キャッシュフロー計算書は1年間のお金の動きを示している。1業務活動では資金増加しているが、2投資活動および3財務活動では資金減少。資金増加額にあるとおり、令和 5 年度の1年間で現金は約 2 億円減少しており、これに伴い資金残高は約 11 億円となったが、これは借金をせず工事費や企業債の償還を自己資金で行っているため。なお、資金流出の大きな要因のひとつは3財務活動における企業債の償還で、令和 5 年度は約 2 億 1 千万円。これは令和 6 年度償還額をピークに減少してゆき、令和 20 年度には償還額 0 円となり、今後の資金流出は減少する見込み。今後も、業務活動で得た資金で投資活動を賄えるよう、経営改善に努める。

資料 P6～P10 ②古賀市水道事業経営戦略 評価の概要

- ・古賀市水道事業経営戦略は令和 2 年度に策定し、毎年度進捗管理して 5 年後をめどに見直しする予定。
- ・投資・財政計画の進捗状況について、収益的収支は概ね計画通り。資本的収支は、新たな起債借り入れをしていないので計画より資金不足が大きいが、経営戦略の中で「新たな起債借り入れは最小限とする」としており、今後も可能な限り自己資金で事業を継続する。

⇒質疑等なし

(2) 下水道事業経営戦略の評価について

資料「下水道事業経営戦略の評価について」に基づき令和 5 年度決算（速報）説明

- ・経営戦略は、下水道事業・農業集落排水事業とも、計画期間を令和 4 年度～令和 13 年度の 10 年間として令和 4 年度に策定し、毎年度進捗管理している。
- ・一般会計繰入金は、当初予算ベースで繰入れを行い、決算で実際の費用を計算して翌年度に差額を返還している。

○公共下水道事業について

資料 P2 経営戦略の将来予測（令和 5 年度は速報値）

- ・令和 4 年度と比較して全体的に経営戦略における各指標の数値が伸びているが、計画値よりは低い状態が続いている。

資料 P3 投資・財政計画（収益的収入）

- ・料金収入は計画値を下回っているが、物価高騰により雨水処理にかかる経費が増加したことなどにより、一般会計からの雨水処理に係る繰入金が増加し、結果的に収益的収入は計画値を上回っている。ただし、令和 5 年度の一般会計繰入金の基準額を決算値から算定した結果、令和 5 年度に実際に繰入れした繰入金が基準額を上回っており、その差額の約 1 千万円を令和 6 年度に一般会計に返還する予定。

資料 P4 投資・財政計画（収益的支出）

- ・電気料の高騰など物価高騰により、委託料などを含む経費が計画値を上回っており、収益的支出は計画値を上回っている。

資料 P5 投資・財政計画（収益的収支）

- ・経常損益は計画値を下回ったが令和 4 年度実績値より大きく、令和 5 年度決算の純利益は約 9 千万円。令和 4 年度は一般会計への返還金により特別損失が約 5 千 4 百万円となり純利益がマイナスとなっていたが、令和 5 年度の経常利益は物価高騰の影響により計画値を下回っているものの、令和 4 年度と異なり前年度一般会計繰入金の精算に伴う返還金がなかったため、経常損益の約 9 千万円がほぼそのまま純利益となった。

資料 P6 投資・財政計画（資本的収支）

- ・国庫補助金が計画値を下回ったことや、建設改良費を令和 6 年度に繰り越したことにより建設改良費が計画値を下回った。また、一般会計から出資金約 1 億円と基金取り崩しによる約 4 千万円で資本的収支の不足分を補填した。

資料 P7 投資・財政計画（補てん財源内訳、一般会計繰入金）

- ・一般会計繰入金は、雨水処理負担金が増加したほか、出資金の繰入れを行ったため、令和 5 年度は計画値よりも決算見込みが増加している。

資料 P8～12 経営戦略の指標（令和 5 年度は速報値）

【経常収支比率】

目標値 108%のところ実績値 105%で目標値よりは低いが、令和 4 年度より改善されている。

【経費回収率】

使用料でどれだけ経費を賄えているかの指標。計画値より低いが令和 4 年度よりは改善されている。

【汚水処理原価】

計画値を上回っているが、令和 4 年度実績値は 163 円だったところ令和 5 年度実績値は 150 円で、令和 4 年度よりも改善されている。

【水洗化率】

令和 5 年度は計画値より下回っており、さらに令和 4 年度実績値よりも下回っている。これは、令和 5 年度に下水道処理区域が広がり処理区域内人口は増えたが、広がった区域のご家庭はこれから接続するため、一時的に割合が低下した。

【企業債比率】

令和 5 年度は令和 4 年度より改善しており、計画値よりも下回った。

- ・下水道経営戦略について、計画を下回っている指標もあるが、全体的に概ね改善傾向。ただし、令和 5 年度決算は一般会計からの出資金等により賄えている部分が多く、経営改善の取り組みは引き続き必要。また、物価上昇や令和 6 年度の下水道使用料の改定等により、計画値との乖離が大きくなることが予想されるので、今後、経営戦略の見直しも検討する必要がある。

○農集集落排水事業について

資料 P14 経営戦略の将来予測（令和 5 年度は速報値）

- ・処理人口は計画値を下回っているが、有収水量・使用料収入は計画値を上回っている。

資料 P15 投資・財政計画（収益的収入）

- ・計画値と実績値が概ね一致している。なお、農業集落排水事業の使用料は公共下水道事業と同額とする方針があり、その場合、事業に係る経費を使用料のみでは賄えないため、その差額分については一般会計から補助金として繰入れしている。

資料 P16 投資・財政計画（収益的支出）

- ・物価高騰などの影響により、令和 5 年度の経費の決算見込みは計画値や令和 4 年度実績値より

大きくなっている。ただし、職員給与費の決算見込みが計画値より低く抑えられたため、支出合計としては計画値を下回っている。

資料 P17 投資・財政計画（収益的収支）

- ・経常損益が計画値を上回り、約 9 百万円の黒字となっており、純利益に影響している。ただし、これは赤字補てんとして一般会計から繰入れがあったことによるもので、この差額分については令和 6 年度に一般会計へ返還する予定で、実質的な黒字ではない。

資料 P18 投資・財政計画（資本的収支）

- ・公共下水道事業と同様に一般会計からの出資金を繰入れしている。また、建設改良費について、計画では約 4 百万円計上していたが令和 5 年度は新たな建設改良工事を実施しなかったこと、また、基金への積み立てを行わなかったことから、資本的収支の不足額は計画値より約 2 千万円減少した。

資料 P19 投資・財政計画（補てん財源内訳、一般会計繰入金）

- ・一般会計からの繰入金の総額としては概ね計画値通りとなっているが、収益収支の黒字分は令和 6 年度に一般会計に返還する予定。

資料 P20～P22 経営戦略の指標（令和 5 年度は速報値）

【経常収支比率】

令和 5 年度実績値は令和 4 年度実績値および令和 5 年度計画値を上回っている。

【経費回収率】

令和 5 年度実績値は令和 4 年度実績値より少し減少したが、計画値を上回っている。

【汚水処理原価】

令和 5 年度実績値は令和 4 年度実績値より上昇してしまったものの計画値を下回っている。

【水洗化率】

令和 5 年度実績値は令和 4 年度実績値より上昇しているが、計画値を下回っている。

【企業債比率】

令和 5 年度実績値は令和 4 年度実績値より減少したが、計画値を上回っている。

- ・農業集落排水事業は、収益収支の赤字分を一般会計から賄ってもらっているため、経営状況は安定しているが、長期的には経営改善を進めていく必要がある。

〔質 疑〕

委 員：決算時期は 3 月末なので令和 5 年度の数値は確定していると思うが、資料中で「見込み」となっているのはなぜか。

事務局：令和 6 年 9 月議会への報告をもって令和 5 年度決算として確定とするため、現時点では「見込み」としている。

9. その他

(事務局)

- ・令和6年度第2回上下水道事業経営等審議会の日程調整について説明
- ・報酬は8月31日までに支払う

10. 閉会